

西別院 だより

降誕会号



- | | | |
|----------|-------|----------------------|
| 5月21日(金) | 9:00 | 双葉高校参拝 |
| 5月22日(土) | 10:00 | 小樽幼稚園・新光保育園・若竹保育所参拝 |
| | 11:00 | 寄贈品セール |
| | 13:30 | 降誕会法要 |
| | 14:30 | 子供ゲーム大会 |
| 5月23日(日) | 12:30 | 稚児行列(庭儀) |
| | 13:00 | 降誕会法要・初参式・記念法話・お楽しみ会 |

尚、5月22日(土)・23日(日)は図画展・書道展・華道展・お茶会・バザーも予定しております。
※5月22日(土)・23日(日)・24日(月)の三日間は月忌参りを休ませていただきます。

『生死出ずべき道』



輪番 寺村 顕智

浄土真宗のおみおりの開顯された親鸞聖人は、他力のみ教えにまなこを開かれたのであります。聖人が生れられたのは、西暦一一七三年、平安朝末期であります。日本の社会体制が、古代の貴族政権から鎌倉時代の封建社会、武家社会に転換をした時代に、聖人は生かされたのであります。親鸞聖人が出家されたのは一一八一年、九歳の時で激動の時代にありました。出家された養和元年の前年に源平の動乱は始まっています。源頼朝が一一八〇年に伊豆に挙兵した後、わずか六年後に平家は壇の浦で滅亡しています。聖人が出家された養和元年は非常な天災地変が起って、多くの人々が飢え死にしています。「方丈記」(鴨長明)に「道の辺に飢えて死ぬ者の類、その数も知れず、とり捨つる葉も知らねば臭き香り世界にみちみちて、変りゆく形ありさま、目もあてられぬこと多かりき」と養和の頃の都の悲惨な状況が説示されています。

ます。餓死者の数があまりにも多すぎて放置してある。そういう状況の中で京の町が渦巻いていたのです。その当時の貴族階級の出家というものはおのれの名聞利養を求めての出家でありました。そんな時代にわずか九歳であった聖人は、その時代の悲惨さというものを肌で感じて、その中で如何に人間が真実に生き通すことができるかという点に焦点をおいた出家であったのです。まさに生死出ずべき道を求めての出家であったといえましょう。聖人は比叡山でも二十年間自力の仏道修行をされ、その結果自力から他力の教えにまなこを開いていかれるのですが、比叡山の修業を通してどうにもならぬ人間の煩惱の壁に聖人は行きづまらざるを得なかった。仏道修業の修業者の心にはたえず相反する二つの心の動きがあるといわれます。その一は信福心であり、その二は信罪心です。信福心とは少しでも善根功徳を積み上げて、仏果菩提に近づいて行こうとする向上心のことをいいます。これとは逆に、善根功徳を積み上げようとする心が厳しくなればなるほど、己の罪の深さが見つめられていく。これを信罪心といえます。また信罪心が厳くなればなるほど、今度は自分の煩惱を打消して善根功徳を積み上げようとする信福心が熾烈になつてくる。かかる相反する矛盾した心の葛藤を克服しようとするところに、仏道修行者の心の悩みが在するの

です。聖人の二十年間の仏道修行の悩みもここにあったといえましょう。この矛盾の克服、煩惱の壁を破ることが出来ないところに、聖人は自力の修業の限界を見据えていかれたのであります。「たとひ千年の寿を尽すとも、法眼いまだかつて聞けず」といわれています。千年の間修行をしても、真理を見通すまなこは開けない。聖人は如何ともし難い煩惱に悲泣されているのです。信罪心、信福心の矛盾を持ったま

八百二十六回 親鸞聖人降誕会

北海道にも春が訪れ、新緑にあふれ、花が咲きほこる中、五月二十一日、親鸞聖人の八百二十六回目のお誕生日をおむかえします。

親鸞さまは、承安三年(一一七三)に京都伏見区の日野の里にお誕生になりました。江戸時代に五天良空という方が編集された『高田開山親鸞聖人正統伝』という本によりますと、お誕生は旧暦の四月一日(新暦では五月二十一日)となつております。その後養和元年(一一八一)の春、九歳の時に京都東山の青蓮院にて慈円僧正(慈鎮和尚)のもとで天台宗の僧侶として出家得度しました。幼名の松若磨(鶴光磨)だったともいわれる)を範宴と改め、比叡山に登り求道の生活を始められたのです。そして二十九歳の時、比叡山を下り横川の法然上人の門下に帰入さ

ま、如来様のみ光につつまれ、救われていくところに、他力のすくいの実がある。そう聖人はめざめられていかれたのです。

合掌



れました。

親鸞聖人がこの世にお誕生されなければ、私達が阿弥陀様のすばらしい願いに出会うことも出来なかつたでしょう。浄土真宗のみ教えに出会ったことを喜び、心より親鸞聖人のお誕生をお祝いさせていただく法要、それが親鸞聖人降誕会法要です。

当別院では、五月二十二日(土)五月二十三日(日)に法要をつとめさせて頂きま

す。二十二日は午後一時三十分から御速夜の法要、二十三日は十二時三十分より庭儀(稚児行列)、午後一時より親鸞聖人降誕会法要、引き続き初参式をとり行う予定です。また同時に婦人会の方々によりますバザー等も行われます。お誘い合せの上ご参詣下さい。

お知らせ

この度平成11年4月1日より、会館の使用冥加金が変更になりましたのでご案内いたします。

1. 葬儀の場合

使用場所	門徒	他門徒
本堂	250,000円	260,000円
会館ホール並和室	100,000円	120,000円
会館和室	60,000円	70,000円
本堂並会館	300,000円	300,000円

※(イ) ストープ使用の場合暖房費として

本堂 30,000円
ホール 25,000円

※(ロ) 椅子を使用の場合 20,000円
それぞれ上記の冥加金に加算します。

2. 年回法要の場合

一律 10,000円

(イ) 仏具を貸す場合(別院・自宅以外の会場で年回を勤める場合)

迎仏冥加 5,000円

総合割烹・総合結婚式場
小樽の味・割烹の味

和洋レストラン ニュー豊楽

小樽市花園2丁目(公園通り)

☎(0134) **23-6171**

支店 和洋レストラン ニュー豊楽
南樽駅下 ☎(0134) **23-7561**

外商部 各種後会合に割烹の味をお届け致します。
☎(0134) **32-8757**

21世紀のライフステージを創造する

特定建設業・一般建築士事務所



福島工務店
株式会社

代表取締役社長 福島正紘

本社/小樽市若松1丁目7番18号
TEL (代)23-3542
FAX 33-2442

おかげさまで創業223年 京都店開店103年



京 仏 具

小堀

札幌店/〒064 札幌市中央区南7条西8丁目1番19号

☎(011)512-5171代 FAX(011)512-5183

本店/〒600 京都市下京区烏丸通正面上る

☎(075)341-4121代 FAX(075)341-4128

東京店・練馬店・福岡店・京都工場(小堀京仏具

工房)・滋賀工場

インターネットホームページ

<http://www.taihei.co.jp./kobori/>

何でも話しあえる友達をつくろう。

カブスカウト募集!

活動/毎月1、2回 土曜日 午後2時～4時
内容/文化しせつの見学、お泊り会、運動会。
小学校2年生から5年生の男子、女子
を大募集! ぜひ連絡下さい。

TEL 22-0744 担当 温井、村田

仏教青年会 会員大募集!

活動内容、文化活動、ボランティア

月1回例会(第三木曜日)各種リクリエーション(ボーリング、カラオケ、スキー等)

10代、20代の男女を待っています。ぜひ気軽によってください。

連絡 TEL22-0744 担当 日野、村田

親切! 丁寧!!

わかりやすい!?

おつとめ しま専科!

仏事のことならおまかせ下さい。

対象/どなたでもどうぞ。

費用/特に必要なし!

日時/月2回の火曜日午後2時

お問い合わせ/今すぐ別院の磯村まで...

～みなさまとともに札幌店10周年～



株式会社 若林佛具製作所

〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目
TEL 011-512-3455・FAX 011-512-3488
フリーダイヤル 0120-37-8585

連続百日参拝実施の お知らせ

今年も小樽別院では、恒例となりました連続百日参拝を行います。百日参拝は、御門徒のみなさんに一人でも多く御晨朝(朝参り)に参拝して頂くことを願ひ、又併せて御開山様(親鸞聖人)が、六角堂や吉水の法然上人のもとへ百日の間通いつづけた古事を偲んでいただくためにおこなっているものです。

御門徒の皆さんには、この御縁に一人でも多くの方が別院に参拝されるようになることを念願いたします。

☆5月1日(土)より

8月8日(日)までの百日間

朝六時半から一時間ぐらいです。特に申込の必要はありません。お気軽に参拝して下さい。

初参式

「初参式」とは、新しく誕生されたお子さんが、初めて阿弥陀如来様にお参りする式であると共に、御家族一同が、新しい「生命」の誕生を心から喜び、人間に生まれた尊さを知る「仏の子」として、大切に育てさせていただきますと、阿弥陀如来様にお誓いする式でもありません。

当別院では、今年も親鸞聖人の降誕会法要にひきつづき初参式をとりおこないます。

対象は、生後百日ぐらいから三歳までの幼児です。式は短時間で終わります。記念品等も用意させて頂いておりますので、お気軽にお申し込み下さい。

お申し込みは、別院寺務所(☎二二一〇七四四)、または別院職員まで。

お稚児さん募集

小樽別院では、宗祖降誕会に伴い、稚児行列を行います。対象は三歳以上の幼児で、参加費用三千五百円が必要です。このご縁にご家族と一緒に、降誕会をお祝いしましょう。申込み等詳しいことは、別院までお問い合わせ下さい。

1999年(平成11年) 年回表

1	周忌	平成10年
3	回忌	平成9年
7	回忌	平成5年
13	回忌	昭和62年
17	回忌	昭和58年
25	回忌	昭和50年
33	回忌	昭和42年
50	回忌	昭和25年

3分間の心のともしび

TEL 27-1616

小樽別院テレフォン法話

24時間いつでもどうぞ

毎月1日、16日に
内容が変わります



ご 案 内

お 晨 朝

毎日 午前6時30分

常 例 布 教

毎月7日～11日 午後2時
13日～16日 午後2時

仏教青年会

毎月1回 午後7時30分

仏教婦人会

毎月27日 正午(おとときあり)

仏教壮年会

毎月6日 午後7時

おつとめ教室

毎月2回(火曜日) 午後2時

ボーイカブ・スカウト

毎月1、2回(土曜日) 午後2時

日曜仏教講座

毎月第1(第3日曜日) 午前9時30分

19 日 講

毎月19日 正午より(おとときあり)

各説教所の案内

- 奥沢説教所 樹心会 5日 午後7時
唯信講 10日 正午
- 若竹説教所 彰心会 7日 午後7時
- 緑説教所 無量講 9日 午後6時
- 新光説教所 法友会 13日 午後6時



渡 部 恵

(昭和56年2月16日生まれ 18才)
●一生懸命がんばりますのでよろしくお願ひします。



村 田 法 道 承 仕

(昭和51年5月16日生まれ 22才)
●元気がとれます。よろしくお願ひします。



中 島 賢 潤 参 勤

(昭和26年1月1日生まれ 48才)
●聖人のみ教えを一人でも多くの人に知っていただき、お念仏の喜びを伝えるべくがんばりますので、よろしくお願ひします。

新職員紹介